

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成20年2月28日 (2008.2.28)

【公開番号】特開2006-168351(P2006-168351A)
 【公開日】平成18年6月29日 (2006.6.29)
 【年通号数】公開・登録公報2006-025
 【出願番号】特願2005-333991(P2005-333991)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 2/18 (2006.01)

B 4 1 J 2/185 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 2 R

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月11日 (2008.1.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

色材を含有するインクを記録ヘッドから吐出することによって記録媒体に画像を記録するインクジェット記録方法であって、

前記記録媒体の外側に吐出されるインクを受けるためのインク吸収体に対して、前記色材の凝集を抑制するための凝集阻害液を付与する工程と、

前記記録媒体に向けて前記記録ヘッドからインクを吐出する工程とを有することを特徴とするインクジェット記録方法。

【請求項 2】

色材を含有するインクを記録ヘッドから吐出することによって記録媒体に画像を記録するインクジェット記録方法であって、

前記記録媒体の少なくとも 1 つの端部に余白を設けずに記録を行う余白無し記録モードを設定する工程と、

前記余白無し記録モードにおいて前記記録媒体の外側に吐出されるインクを受けるためのインク吸収体に対して、前記色材の凝集を抑制するための凝集阻害液を付与する工程と、

前記記録媒体に向けて前記記録ヘッドからインクを吐出する工程とを有することを特徴とするインクジェット記録方法。

【請求項 3】

前記凝集阻害液付与工程は、前記記録媒体の外側の領域に記録ヘッドから前記凝集阻害液を吐出することによって行われ、前記記録媒体の外側の領域に吐出される凝集阻害液は前記インク吸収体に受容されることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のインクジェット記録方法。

【請求項 4】

前記凝集阻害液付与工程は、前記記録媒体の端部より外側の領域と当該端部より内側の領域とを含む記録媒体の端部近傍に記録ヘッドから前記凝集阻害液を吐出することによって行われ、前記記録媒体の外側の領域に吐出される凝集阻害液は前記インク吸収体に受容

されることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のインクジェット記録方法。

【請求項 5】

前記記録媒体の外側の領域に吐出される前記凝集阻害溶液の量は、前記記録媒体の内側の領域に吐出される凝集阻害液の量よりも多いことを特徴とする請求項 4 に記載のインクジェット記録方法。

【請求項 6】

前記凝集阻害液付与工程は、前記インク吐出工程を実行するための前記記録ヘッドの走査中に実行されることを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれかに記載のインクジェット記録方法。

【請求項 7】

前記凝集阻害液付与工程を実施した後、前記記録ヘッドを前記記録媒体に対して相対的に走査させることにより前記インク吐出工程を実施することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のインクジェット記録方法。

【請求項 8】

色材を含有するインクを記録ヘッドから吐出することによって、記録媒体に画像を形成するインクジェット記録方法であって、

前記記録媒体の外側に吐出されるインクを受けるためのインク吸収体に対して、前記色材の凝集を抑制するための凝集阻害液を付与する工程と、

前記色材の凝集を促進するための反応液を、前記記録媒体に付与する工程と、

前記記録媒体に前記ヘッドからインクを吐出する工程とを有することを特徴とするインクジェット記録方法。

【請求項 9】

色材を含有するインクを記録ヘッドから吐出することによって記録媒体に画像を記録するインクジェット記録装置であって、

前記記録媒体の少なくとも 1 つの端部に余白を設けずに記録を行う際に、前記記録媒体の外側に吐出されるインクを受けるためのインク吸収体と、

前記インク吸収体に対して、前記色材の凝集を抑制するための凝集阻害液を付与する手段と

を具備することを特徴とするインクジェット記録装置。

【請求項 10】

色材を含有するインクを記録ヘッドから吐出することによって、記録媒体に画像を記録するインクジェット記録装置であって、

記録媒体の少なくとも 1 つの端部に余白を設けずに記録を行う際に、前記記録媒体の外側に吐出されるインクを受けるためのインク吸収体と、

前記インク吸収体に対して、前記色材の凝集を抑制するための凝集阻害液を付与する手段と、

前記色材の凝集を促進するための反応液を、前記記録媒体に付与する手段とを具備することを特徴とするインクジェット記録装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

そのために本発明では、色材を含有するインクを記録ヘッドから吐出することによって記録媒体に画像を記録するインクジェット記録方法であって、前記記録媒体の外側に吐出されるインクを受けるためのインク吸収体に対して、前記色材の凝集を抑制するための凝集阻害液を付与する工程と、前記記録媒体に向けて前記記録ヘッドからインクを吐出する工程とを有することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

また、色材を含有するインクを記録ヘッドから吐出することによって記録媒体に画像を記録するインクジェット記録方法であって、前記記録媒体の少なくとも1つの端部に余白を設けずに記録を行う余白無し記録モードを設定する工程と、前記余白無し記録モードにおいて前記記録媒体の外側に吐出されるインクを受けるためのインク吸収体に対して、前記色材の凝集を抑制するための凝集阻害液を付与する工程と、前記記録媒体に向けて前記記録ヘッドからインクを吐出する工程とを有することを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

また、色材を含有するインクを記録ヘッドから吐出することによって、記録媒体に画像を形成するインクジェット記録方法であって、前記記録媒体の外側に吐出されるインクを受けるためのインク吸収体に対して、前記色材の凝集を抑制するための凝集阻害液を付与する工程と、前記色材の凝集を促進するための反応液を、前記記録媒体に付与する工程と、前記記録媒体に前記ヘッドからインクを吐出する工程とを有することを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

さらに、色材を含有するインクを記録ヘッドから吐出することによって記録媒体に画像を記録するインクジェット記録装置であって、前記記録媒体の少なくとも1つの端部に余白を設けずに記録を行う際に、前記記録媒体の外側に吐出されるインクを受けるためのインク吸収体と、前記インク吸収体に対して、前記色材の凝集を抑制するための凝集阻害液を付与する手段とを具備することを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

更にまた、色材を含有するインクを記録ヘッドから吐出することによって、記録媒体に画像を記録するインクジェット記録装置であって、記録媒体の少なくとも1つの端部に余白を設けずに記録を行う際に、前記記録媒体の外側に吐出されるインクを受けるためのインク吸収体と、前記インク吸収体に対して、前記色材の凝集を抑制するための凝集阻害液を付与する手段と、前記色材の凝集を促進するための反応液を、前記記録媒体に付与する手段とを具備することを特徴とする。